BON · JOVI

SHE DON'T KNOW ME

LET IT ROCK

ONLY LONELY

TOKYO ROAD

YOU GIVE LOVE A BAD NAME

LIVIN' ON A PRAYER

RAISE YOUR HANDS

I'D DIE FOR YOU

WANTED DEAD OR ALIVE

PERFECTION

DOREMI MUSIC PUBLISHING. CO., LTD.

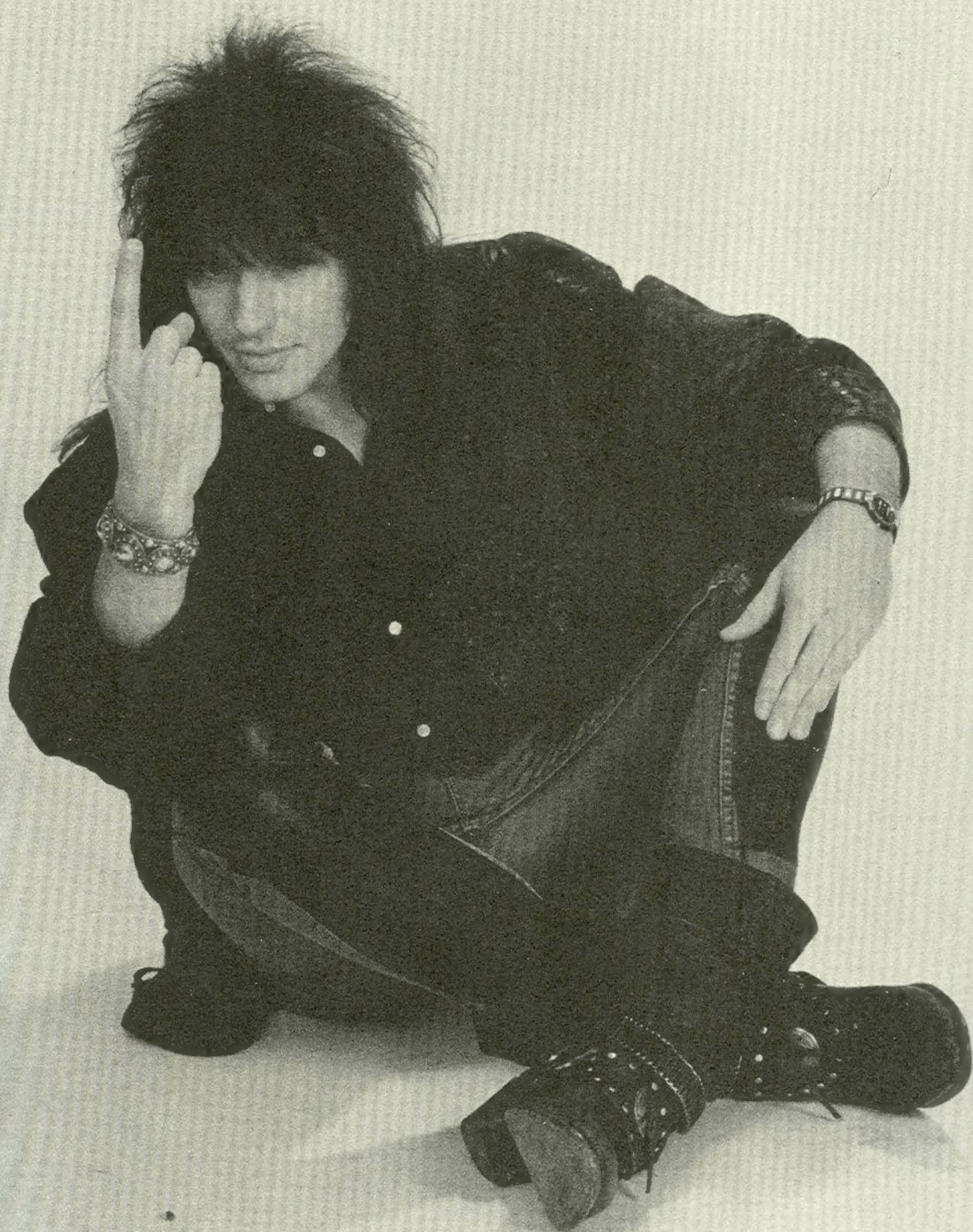
BON◆JOVI

PERFECTION

DOREMI MUSIC PUBLISHING. CO., LTD.

CONTENTS

JON BON JOVI

Lead & backing vocals

RICHIE SAMBORA

Acoustic & electric guitars, IVL guitar synths, talk box, backing vocals

ALEC JOHN SUCH

Bass, backing vocals

DAVID BRYAN

All keyboards & various noises, backing vocals

TICO TORRES

Drums & percussion

SHE DON'T KNOW ME

愛は蜃気楼

by Mark Avsec

〈演奏順序〉

Intro→A→B→A→B→C→𝄋B→⊕D

〈解　説〉

イントロのリフは，４本のギターによって演奏されている。トップと2ndギターは２，４小節目でチョーキングを行っている。トップのチョーキングは１音チョーキングで，2ndは半音チョーキングである。また６，８小節目は，どちらも１音チョーキングである。

このようなギター・アンサンブルの場合，音が同じなので非常にハモリ易いのは当然であるが，ピッチの狂いやリズムのずれが目立ちやすく，フィンガー・テクニックのニュアンスも合わせるようにしなくてはいけない。

９小節目からはトップのギターが残って弾いている。ギター１はコードのルートの音をとっている。音色は堅くハードで，ギター２はソフトなギター・サウンドである。

アコースティック・ギターのアルペジオは１つ１つの音を残して響かせるようにする。

Cのギター２のシーケンス・フレーズは全てピッキングして弾く。正確なオルタネイト・ピッキングができなくてはいけない。

キーボードは常にギターと同じで，互いにフォローして音に厚みを付けている。もしキーボード奏者が２人いてピアノが１人で演奏できる場合，譜面の音にベース・トーン（左手）を加えると良い。

Cm7
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
11
A♭
E♭(onG)
B♭
<A.G.> Arpeggio
gliss
gliss

A♭
(She – don't want me, – Like – I wan't her –)
want – Like I wan't her – – Got to
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
B♭
(Got – to tell – her, – That – I love – her –)
to
tell her That I love (her)
15

A♭
E♭
B♭
VOCAL
She don't— — e - ven know— my name —
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
16
C
B♭
A♭(onB♭)
A♭(onB♭) Cm7(onB♭)
Ah — —
1x tacet
Fade In

B♭
A♭(onB♭)
B♭
A♭(onB♭) Cm7(onB♭)
1.
VOCAL
Ah – –
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
2.
Cm7(onB♭)
D.S.
Straight to Coda
Coda
B♭
(love – her –)
D
E♭
(She don't
Ah–
17

LET IT ROCK

レット・イット・ロック

by Jon Bon Jovi/Richie Sambora

〈演奏順序〉

[Intro]→[A]→[B]→[C]1→[D]→[A]→[B]→[C]2 →[E] →[F]→[G]×
(Repeat & F.O.)

〈解　説〉

イントロの4小節パターンのバッキング・リフは，後にサビ[C]や[E]，[F]，[G]に何度もプレイされるいわばこの曲の顔とも言えるリフである。2小節めには，和音のままトレモロ・アームをダウンさせるといった斬新なアイディアでプレイしているが，次のU印の所ではアームをダウンさせたまま押え換え，ピッキングの後アームを元に戻す。といった細かいワザでプレイするのである。

他のバッキングでは，特に[B]等でコード（リズム）符と音符（タブ）を組み合わせて記しているので注意して欲しい。

[B]の2小節め等のU印の付いた音は，クォーター〜ハーフ程度にチョーキングするという意味であるが，チョーキングと言っても6弦なので，押し上げるのではなくひっぱり下げる感じでプレイするのである。

[C]の最終小節の×印の音は，ピック・スクラッチ・プレイである。ピックをラウンド弦上に直角におき，ヘッド方向へ擦り付ける様にすべらせるといった奏法である。

さて，[E]がギター・ソロであるが，まず1，2小節のハーモニクスでのアーム・プレイは，3弦5フレットのナチュラル・ハーモニクス音でプレイする。軽く触れ，ピッキングと同時に放すとハーモニクス音が得られるが，このままアームを16分音符のタイミングで軽く叩く様にプレイするのである。

3小節めのライト・ハンド・プレイは少々変わっていて，右手で15から22へ押えたままスライドさせ，放すタイミングには，左手のプリングを組み合せるといったものである。後の7小節めのライト・ハンドは通常のプレイで，右手を交えてのハンマリング，プリングの連続ワザである。

9小節めのW.C.はダブル・チョーキングである。ここでは3弦をチョーキングするが，あらかじめ2弦を押えておき，両弦同時にピッキングして同音程になる様にプレイする。

13小節めのナチュラル・ハーモニクスは前記した様にプレイするが，ここではアームを1拍めD音，2拍めA音までダウンさせて元に戻すといったプレイである。次のピッキング・ハーモニクスはピックを深めに持ち，押えたフレットとブリッヂの真中の位置を強く少しミュートする様な感じでピッキングするのである。

14小節めの1.H.C.はワン・ハーフ・チョーキングと読み，全音半（短3度）のチョーキングである。

キーボードはオルガンでプレイするが，ここでのオルガンは通常の物ではなくピッチ・ベンド等のプレイもあるのでシンセのオルガン・サウンドでプレイすると良い。バッキング・プレイのみだが，[E]のギター・ソロではギターのバッキングがなくなってしまうので，サウンドが薄くなってしまわない様にしっかりバッキングする事。

ベースは最低音でD音が出ているため，ここでは5弦ベースとして記してあるので注意して欲しい。通常の4弦ベースでプレイする場合には，その音のみオクターブ上でプレイするか，チューニングを下げるかしてプレイすると良いだろう。

ドラムの注意点は[A]でのハイ・ハット・プレイだが，一応4分音符で記してある。少しオープン気味にし，8分のタイミングでクローズするといったプレイが良いだろう。

〈C(onE)〉
Cadd9
D
VOCAL
ones who have to make-up What we break of their rules
get up on the roc-kin' horse And blast that ra-di-o
GUITAR
KEYBOARD
Bend
BASS
DRUMS
B
G
C(onG)
Well I saw Cap-tain kidd on sun-set Tell his boys they're in com-mand While
Well I saw Ro-xie on the ta-ble Her girl-friend down be-low They'll

A
D(onA)
A
D(onA)
G
C(onG)
al - right
VOCAL
Chi - no danced a tan - go with a broom - stick in his hand — He said It's al - - right if you
give it up to the king of swing Be - fore it's time to go —
GUITAR
KEYBOARD
BASS
DRUMS
G
A
D(onA)
al - right
A
have a good time— — It's al - right If you want— to cross— that line— To
gliss.
S

F(onD) C(onD)
Let — it go —
1.
G
D
G(onD)
D
VOCAL
With the night — you're on the loose —
You got to let it rock Wow
GUITAR
KEYBOARD
Pitch Bend
BASS
DRUMS
24
2.
F(onD) C(onD)
F(onD) C(onD)
G F D
F(onD) C(onD)
Wow
We You can't stop a fi - re bur - ing
arm

F(onC) C F(onD) C(onD) G F D

VOCAL

〈・= Right Hand〉

8va

GUITAR

KEYBOARD

BASS

DRUMS

G(onD) D F(onD) C(onD) F(onD) C(onD)

VOCAL

〈・= Right Hand〉

8va

GUITAR

4.

KEYBOARD

BASS

DRUMS

ONLY LONELY

オンリー・ロンリー

by David Bryan/Jon Bon Jovi

〈演奏順序〉

A→A'→B→C→D→E→𝄋C→D→𝄌F→F'→G→H→I

〈解　説〉

イントロ部は4本のギターで演奏されている。まずAは〈E.G.1〉で始まり，A'になると〈E.G.1〉はコードのルート音やコードを弾き，バッキング・パートの演奏となる。メロディーは〈E.G.2～4〉が演奏する。主旋律は〈E.G.2〉と考えられ，〈E.G.3〉が下に，〈E.G.4〉は上にハーモニーを付けている。尚〈E.G.4〉は3小節目に見られるように，ギター・アンサンブルに変化を付ける役目をしている。

Bに入ってからはフィード・バックの音を効果的に使っている。9小節目からは単音とコードを弾く2本のギターによって演奏されている。

Eの8～10小節目のフレーズでは，もう1本ギターが加わり，3本のギターにより演奏されている。

F'のギターIIのコードは，ルートと5音の音で，5音の音がオクターヴになっている。

ギター・ソロGは$\frac{2}{3}$拍フレーズにプリング・オフを加えたフレーズ。正確なタイミングで，プリング・オフを行うこと。

A'
Cm7
A♭
B♭
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
<E.G.4>
<E.G.2>
<E.G.3>
<with P.f>
Arm.
(4)
31

A♭
B♭
(Oh – to ⊕ –)
A♭
how much pain – does it take – –
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
36
E
Cm7
A♭
It's ge-tting – some - times I – don't– know – When to stop, when – to go

Cm7
A♭(onC)
VOCAL
she's go nna blow
How can I say get a-way
When I just can't let it go
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
gliss
DRUMS
40
G
Cm7
A♭
B♭
Top. Cym. cup.

Cm7
A♭
B♭
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
41
Cm7
A♭
B♭
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS

TOKYO ROAD

TOKYOロード

by Jon Bon Jovi/Richard Sambora

〈演奏順序〉

Intro→A→A'→B→C→𝄋A→A'→B→⊕D→E→F→G→H

〈解　説〉

イントロのリフでのアーミングは，8分音符のタイミングでかけられている。

Aの5，6小節目は2本のギターのアルペジオ・フレーズが掛け合いになっている。このようなアルペジオやイントロのようにコードを弾く場合，ギターの歪み具合には十分注意が必要である。あまりに強くオーヴァー・ドライヴさせると，音の響きが濁ってしまいコード感が失われることになる。

Bの5小節目のアーミングは，ピッキングと同時にアームを軽くプッシュする感覚で行う。

ギター・ソロEの1，2小節目は，1拍半フレーズのスタンダードなフレーズ。3小節目のアーミングはアーム・アップである。

7小節目のライト・ハンド奏法は，トリルとのコンビネーションで，トリルをしている弦上で，ライト・ハンドをグリス・アップさせるテクニックである。

Fの後半からGにおけるハーモニクス奏法は，1小節目はナチュラル・ハーモニクス奏法，2，3小節目はライト・ハンド・ハーモニクス奏法である。タブ譜にあるのは左手のポジションで，その12フレット上のポジションを右手の人差指でミュートし，薬指でピッキングし，ハーモニクス音を得る。

VOCAL
F
G7
part that just – won't die – –
life I would – never for- get –
Just a boy,
In a bar,
GUITAR I
H.C.
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
2X
48
A'
G7
– not a man – Sent to war, – in a land
– brea- thing smoke – Snor- ting whis - key, drin- king coke
2×
(Mute)

Coda 4Times Repeat
D
G7
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
Road — — Take me back
Road Wor- king hard,
gliss
Arm
D.S.
To- k- yo Road — — Take me back
To- k- yo Road —
2× Arm.
2.3×.

E
G7
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
Arm.
8va
Arm. (Harmo)
Arm. Vib.
Arm Vib.
R.H. gliss Up.
tr.
(4)

G7

VOCAL

GUITAR I

GUITAR II

8va

H P

R.H.

Arm.

tr.

Arm. Vib.

gliss

C

(4)

KEYBOARD

BASS

DRUMS

G7

VOCAL

GUITAR I

GUITAR II

D C

6

BASS

F
G7
VOCAL
GUITAR I
Arm.
GUITAR II
8va
KEYBOARD
(Gyn.)
BASS
DRUMS
(Gong)(*)
G7
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
(Noise)

YOU GIVE LOVE A BAD NAME

禁じられた愛

by Jon Bon Jovi/Richie Sambora/Desmond Child

〈演奏順序〉

Intro→A→B→C1→A→B→C2→D→E D.S.→𝄋C→⊕→F(Repeat & F.O.)

〈解　説〉

このギター1は音色面で少々凝っている。と言うのは，譜面上にも記したが通常のディストーション・サウンドではなく，ハーモナイザー(ピッチ・トランスポーザー）を併用し，オクターブ上の音をミックスしてあるサウンドでプレイしているからである。ここで注意して欲しいのはハーモナイザーには2タイプあり，ひとつはロング・トーンに強いが少し遅れてしまう物，そして，音は出るがロング・トーン時に音が不安定になってしまう物がある。ここで使用しているのは前者のタイプだろう。聞いてもわかる通り，ショート・ディレイがかかった様に聞こえるのが特徴である。

イントロの最終小節等のU印の付いた音は，トレモロ・アームを使い，軽く叩く様にプレイする。

Bの6～8小節はトレモロ・アームでビブラートをかけるが，指でプレイするビブラートの様に細かいニュアンスを出して欲しい。

Dはギター・ソロだが，5小節めにちょっと変わったタイプのライト・ハンド・プレイが出て来る。左手でハンマリングとプリングを1拍6連のタイミングで繰返し行なうが，×印のタイミングで右手で任意（2弦ハイ・ポジション）のフレットを押え，そのままブリッジ方向へ素早くスライドさせるといったプレイを組み合わせたフレーズなのである。

7.小節めのW.C.はダブル・チョーキングである。2弦をチョーキングするが，あらかじめ1弦を押えておき，同時にピッキングして同音程にするといったテクニックである。

ギター2は，コード弾きやリフ等のバッキングを記したパートである。A等でのリフはハーフ・ミュートでプレイすると良いだろう。

キーボードはシンセとシンセ・オルガンと記しているが，実の所良く分からない。多分Midiを使い，ピアノやシンセ・オルガン，シンセ音等を細かくオン・オフしてバリエーションを付けていると思われるが，音が混ってしまって，どこからどこまでと言う判断がつけにくいのである。

ベース・パートA等のリフはユニゾン，その他はルート音弾きといった普通のベースである。

ドラムはA等のハイ・ハットは4分で記してあるが，オープン気味にして8分のタイミングでクローズすると良い。

VOCAL
Cm
Ab
Bb
Cm
Ab
Bb
Eb
Cm
Distortion
8va unison (Harmoniser)
GUITAR I
cho
D
P
GUITAR II
KEYBOARD
Synth.
Organ < Synth >
BASS
DRUMS
61

Cm
VOCAL
An
GUITAR I
GUITAR II
Mute
arm
KEYBOARD
BASS
DRUMS
A
Cm
an-gel's smile — is what you sell You pro-mise me — hea - ven — then put me — through hell
You paint your smile — on your lips Blood red - nails on your fin - - ger - tips
1 x Tacet

C
Bb
F
G
Cm
Ab
VOCAL
no-where to run
No one can save me The
da-mage is done
Shot through the heart
And
GUITAR I
GUITAR II
Tr. Arm vib.
KEYBOARD
BASS
DRUMS
64
Bb
Cm
Ab
Bb
Eb
Cm
bad name
Ab
Bb
Cm
you're to blame
You give love
a bad name
I play my part
and you play your game

D
B♭
Cm
A♭
VOCAL
Oh
GUITAR I
vib.
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
⟨ • = Right Hand ⟩
H+P
cho

B♭
Cm
A♭
B♭
E♭
Cm
bad — name
VOCAL
play — your — game
You give love — — a bad — name
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
D.S. al Coda
Coda
F
E♭
Cm
bad — name
Wow — — wow — wow — — —
wow — — wow — wow — — —
bad — name
You give love — —
You give love —
bad — name
cho
cho D
Repeat & Fade Out

LIVIN' ON A PRAYER

リヴィン・オン・ア・プレイヤー

by Jon Bon Jovi/Richie Sambora/Desmond Child

〈演奏順序〉

Intro→A→B→C1→A→B→C2→D→E→F

(Repeat & F.O.)

〈解　説〉

ミドル・テンポの８ビート・ナンバーだが，途中F（エンディング）で転調するので気を付けて欲しい。又，変わり目のタイミングも，Eの最終小節で１小節だけ３拍であるので注意する事。

ギター１，２度めのAの５～８小節めのフィルは，トーキング・ボックスを使ったプレイである。Dがギター・ソロであるが，特にこれといった注意点はない。しいて言えば５小節めの×印音である。これはミュートでストロークするといったプレイである。

ギター２，イントロ11小節目からのリフが印象的であるが，これはトーキング・ボックス（トーキング・モジュレーター又はトーキング・マシーンとも言う。）を使ってプレイする。このエフェクターは通常のエフェクターと異なり，アンプとスピーカーの間に接続し，ホースを口にくわえてギターを弾きながら口を開閉して，ワウワウ効果を作るといったエフェクターである。もちろんその音は口の中で鳴るわけだからマイクで拾うのである。要するに，小さなスピーカーにジョーゴとホースを付け，ギターの音を口の中へ出して口でコントロールするという，いたって単純なエフェクターである。もちろん自作する事も出来るが（本来ジェフ・ベックの“迷信”で有名なエフェクターで，もちろん自作である。），スピーカーとアンプのマッチングを考えて作らないと，使用中にピーク音でスピーカーを飛ばしてしまうという事になるので注意する事。作る時のポイントは，スピーカーの音をホースに集めるためにグラス・ウール等で包み，その上から皮でくるむと言うのが“ジェフ・ベック”のアイディアなのである。もちろん楽器屋等で売っているが，最近は製造中止のメーカーが多く，入手しにくくなっているのである。

キーボードは，ストリングス，シンセ，ピアノ等を使っているが，どれもシンセでのプレイである（ピアノは？であるがMidi仕様だろう。）

ドラムは，イントロ７～10小節は鈴を使うが，キーボーディストにシンセで代用してもらうという手もある。

N.C.

VOCAL

GUITAR I

GUITAR II

talk box

KEYBOARD

BASS

DRUMS

70

N.C.

C

D

Em

VOCAL

GUITAR I

GUITAR II

<Synth.>

<Pf>

KEYBOARD

BASS

DRUMS

C
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
D Em D C D Em Cadd9 D
that's a lot for love We'll give it a shot Wow We're harf way there
<Synth.>
<Pf>
G C D Em Cadd9 D G C
Wow wow Li - ving on a pra - yer Take my hand and we'll make it I swear Wow wow Li -

74

D
1
Em
2.
Cmaj7
-ving on a pra - yer
Li - vin' on — a prayer
Tr. Ar. Vib.
Tr. Ar. Vib.
5 6 7
‹ Strings ›
D
Em
Cadd9
Dsus4
D
G
C
Dsus4
D
Em
Cadd9
cho
cho cho
HC HD

Dsus4
D
G
C
E
VOCAL
Wow — — We've got to
GUITAR I
HD
S
cho
Vib.
D
8va
H
GUITAR II
KEYBOARD
4
BASS
DRUMS
E
C
D
Em
hold — on — rea - dy or — not You live for — the fight when — it's all that — you've got
< Synth. >

76

RAISE YOUR HANDS

レイズ・ユア・ハンズ

by Jon Bon Jovi/Richie Sambora

〈演奏順序〉

Intro→A→B→C1→A→B→C2→D→E D.S.→𝄋C⊕→⊕F(Repeat & F.O.)

〈解　説〉

ギター１，イントロ７，８小節等のハーモニクスは，ナチュラル・ハーモニクスである。タブ譜に記したフレット上を軽く触れ，ピッキングと同時に放すというテクニックである。つまりチューニング時に行なうハーモニクスと同じであるが，それを各ポジションでプレイするのである。16分のタイミングでのプレイなので，少々練習しないと難しいだろう。12小節目等のハーモニクスはピッキング・ハーモニクスである。ピックを深めに持ち，押えたフレットとブリッジの真中（ここでは21フレットあたり）を，強く少しミュートする様な感じでピッキングするのである。

Dがギター・ソロである。３，４，７，８小節はプリング・オフと５弦開放を組み合わせたトリッキーなフレーズである。７，８小節めは３，４小節めのフレーズをオクターブ上げてプレイするが，５弦の開放は変わらない。

ギター２，D等でのギター１に重なって出て来るパートを記したが，あまり重要なパートではない。

キーボードは，ここでもやはりエレクトリック・ピアノとシンセをシンクロさせてプレイしているようだ。主にリフのアクセント部をプレイするが，Gの５，６小節めの様にシンセをオフする箇所や，シンセのみのパートもある。細かい指定は記していないので自分なりに判断して欲しい。

ドラムは，イントロでのライドのロール（トレモロ？）を徐々に強く（大きく）して行く様にプレイする。タイミングとしては大体１拍６連程度で良いだろう。

VOCAL
A
G
D
A
GUITAR I
Natural Harmo
arm.
arm.
GUITAR II
KEYBOARD
< Synth. >
BASS
DRUMS
A
G
D
A
Uh — yeah — —
Picking Harmo
Vib
Vib
H + P
H + P

A
B G D(onF♯) G D(onF♯) G D(onF♯)
VOCAL
do — —
you — —
12) You're_ un-der the gun _ Out on the run Gon - na set the
GUITAR I
Vib.
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
4
A
G D(onF♯) G D(onF♯) G D
night on fi - re _ (You're) out on the run_ Un-der the gun And pla - yin' to win_
Pickig Harmo
Vib.

A
hands
G
Wow
D(onF♯)
wow
G
Raise
D
your
VOCAL
From New Jer - sey on to To-k-yo
Wow
wow
Raise your
Vib.
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
84
A
hands
to
1.
A
G
D
hands
I
Picking Harmo
Vib.
H+P

G
wow
D(onF#)
wow
G
Raise
D
your
A
hands
wow
wow
Raise your hands
H+P
A
D
F#m
G
All right
Let's go !
Picking Harmo
arm.
Vib.
P
arm.

VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
A
F♯m
G
Natural Harmo
Vib.
arm.
Picking Harm

VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
A
F#m
G
E
Natural Harmo
Raise your hands
87

A
VOCAL
Raise your hands
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
A
G
Raise
D
your
Natural Harmo
arm.
Coda
Vib.
D.S.

F
A
hands
G
Raise
D
your
A
hands
G
D
Raise your
New York
to joy
VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
Vib.
H+P
D
hands
G
Raise
D
your
A
hands
G
D
Rise your
Van - couver
hey, frontier
Fade Out

I'D DIE FOR YOU

アイド・ダイ・フォー・ユー

by Jon Bon Jovi/Richie Sambora

〈演奏順序〉

Intro→A→B→C→D D.S.→𝄋B→C𝄌→𝄌E→F→G

〈解　説〉

ギター1は，ギター・ソロのみを記したパートである。Eがギター・ソロであるが，ディストーションにディレイを併用して，サウンドに深みを出している点がポイントである。ディレイのセッティングは，ディレイ・タイムが大体1拍程度，リピートが2～3回で，バランスはおさえぎみといった感じで。連続したフレーズを弾いている時には聞きとれず，ロング・トーンのウラでうっすらと聞こえる程度にセットすると良いだろう。

ギター2は，バッキングを記したパートである。D等でナチュラル・ハーモニクス・プレイがあるが，これはチューニング時に行うハーモニクスと同じで，タブ譜に記したフレットに軽く触れ，ピッキングと同時に放すというテクニックである。同じくD等でピック・スクラッチが出て来るが，これはラウンド弦上にピックを置き，ヘッド方向へ擦り付ける様に滑らせるのである。

キーボードは，主にシンセ・ピアノでの8分のバッキングをプレイする。途中シンセによるヒューマン・ヴォイスを使ったり，アルペジオ・プレイありと，何かと忙しいプレイである。8分をキザむバッキングが多いので，テンポが走ったり遅れたりしないように注意する事。

ベースは，8分のルート弾きプレイ中心のオーソドックスなプレイである。ビートを打ち出すリズム楽器である，という事を意識してプレイして欲しい所である。

ドラムは，サビ等で16分のライドがあるが，あまり細かい事を気にせず，リズム重視のプレイの方が良いだろう。

Intro

Am F G C G(onB) Am F

VOCAL

GUITAR I

Distortion

GUITAR II

5 6 7　1 2 3　3 4 5　8 9 10　7 8 9

Synth E.P

KEYBOARD

BASS

0 0 1　3 3 2

DRUMS

③

VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
F
G
C
G(onB)
Am
F
4.
Em
Picking Harm.
91

Am
F
G
VOCAL
- ry Yeah I might talk tough some-times — And I might — for - get — the lit-tle things Or keep you
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
B
Em
F
Am
G
C
hang - ging on — the line — — In a world that don't know Ro-me - o and Ju-li-et Boy — meets girl and
Pick Scratching
Pf.
93

C G can't for - F get Am G F
VOCAL
pro - mi - ses we can't for-get — We are cast from E - den's gate with no re-grets When in-to — the fire we —
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
94
C
E cry Am F G Em
cry I'd die- — for you — I'd cry — for you — I'd do — a - ny - thing — I'd lie — for you — You
Synth.

VOCAL
Am
F
G
C
G(onB)
Am
know — it's true — Ba - by I'd — die for — you
I'd — die — for you — I'd
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
F
G
Em
Am
F
cry — for you — If it came — right down — to me — and you — You know — it's true — Ba - by I'd — die for —
8.
95

Coda
E
C
G(onB)
Am
F
G
VOCAL
Oh — — oh — — oh—
GUITAR I
cho
GUITAR II
Picking Harm.
KEYBOARD
BASS
DRUMS
98
Em
cho
D
vib.

VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
C
G(onB)
Am
F
G
8va
Em
Am
F
Dm
Em
cho
vib.

VOCAL
GUITAR I
GUITAR II
KEYBOARD
BASS
DRUMS
G
Am
F
G
I'd die — for you — I'd cry — for you — If it came — right down — to me —
Natural Harm.
Em
Am
F
G
— and you — You know it's true — Ba - by I'd — die for — you

WANTED DEAD OR ALIVE

ウォンテッド・デッド・オア・アライヴ

by Jon Bon Jovi／Richie Sambora

演奏順序

イントロ→A→B→C→D→E→F→G→H→I→J→K

解　説

ギター２のパートは12弦のアコースティック・ギターのプレイである。イントロやC，F，K（エンディング）でのアルペジオ・プレイは４弦開放のＤ音を固定し，ハイ・ポジションからスライドさせながらプレイするがピッキングは16分で行うのである。つまりスライドして次の拍の頭の音に行きつくが，それと同時に４弦開放のＤ音をピッキングするのである。スライドを意識しすぎるとタイミングが合わなくなるので注意する事。イントロ２小節目のハーモニックス音はナチュラル・ハーモニックス・プレイである。タブに記したフレット上の弦を軽く触れる程度に押さえ，ピッキングすると同時に離すという具合いにプレイする。

ギター１はディストーション・サウンドのエレキ・ギターで主にGのギター・ソロやフィル，またHからは5度でのバッキングをプレイする。イントロのＵ印の付いた音はあらかじめチョーキングしておいてからピッキングするが，また同時にボリューム・ペダル等でフェイド・インさせるとよりリアルである。Gのギター・ソロの５小節目にピッキング・ハーモニックスでのプレイが出てくるがこれはピックを深く持ち，押えたフレットからブリッヂまでの弦長の¼あたりを強くピッキングするとハーモニックス音が得られるのである。８小節目のロー・ポジションでのフレーズはミュートっぽくプレイするとよりリアルである。Hの４小節目は²⁄₄で２拍となっているので注意する事。

Iの８小節目からは（　）でエレキ・ギター３を同時に記しているので注意して欲しい。オーバー・ダビングによるフィルなのでどちらを弾いてもかまわないが，エレキ・ギター３のフィルを弾いてしまうと全体のサウンド的に厚みが無くなってしまうのでエレキ・ギター１のバッキング・プレイの方がベターだろう。

Dmadd9

D cho

D cho

Dm add9 Dm A D Cadd9 G Cadd9 G

It's all the same, on-ly the names will change E- very- day it seems we're

D cho

D cho

C F D
C Dm
dead or a- live
Some-
cho
cho D vib
cho D P
(Pf)
8va bassa
D
D
Cadd9 G
Cadd9 G
F D
-times I sleep,
some - times it's not - for days
And peop-ple I meet
al - ways go their se - parate ways
Some-

D
Cadd9 G
Cadd9 G
F D
-times you tell the day
By the bot-tle that you drink
And times when you're all a-lone
all you do is think
I'm a
P
H
E
Cadd9 G
F D
Cadd9 G
Wan - ted
C Dm F D
deed or a- live
Cadd9 G
Wan -ted
cow- boy,
8va
on a steel-horse I ride
I'm wan-ted
dead or a -live
Wan-ted
cho
D
cho D
vib
S
vib Arm

C F Dm
dead or a- live Ah ah
F
dead or a- live Ah ah
Oh
‹Pf›
‹Synth.›
8va bassa
109
G D
Cadd9 G
Cadd9 G
G F D
cho
vib
8va
Oh
‹Stings›

Cadd9
G
F
D
Oh yeah
six string on my back I play for keeps 'cause I might not make it back I been e-very-where still I'm
Simile 4 bars
stan-ding tall I've seen a milli-on faces And I've rocked them all 'Cause I'm a cow-boy, on a
I've seen a mill-on faces And I've rocked them all
<E.G.3>
cho
vib
J

F D Cadd9 G C D F D Cadd9 G
steel hore I ride Wan - ted dead or a - live 'Cause I'm a caw -boy I got the
steel horse I ride I'm wan - ted dead or a - live 'Cause I'm a cow - boy. I got the
(E.G.3) 8va
cho
Simile 4 bars
112
F D Cadd9 G C D F D Cadd9 G C D F D
night on my side Wan - ted dead or a - live dead or a -live
nigth on my side I'm wan-ted dead or a -live dead or a - live
(8va)